

[illegible]

問題3

障害者福祉に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 障害者総合支援法における障害者とは、身体・知的障害者に限られており、精神障害者や発達障害者は対象外である。
- ② 発達障害者支援法では、支援の対象は学齢期に限定されており、成人期以降の支援は想定されていない。
- ③ 障害者差別解消法では、合理的配慮の提供は国や地方公共団体にのみ義務づけられ、民間事業者には適用されない。
- ④ 障害者基本法は、障害のある人が地域社会で共生することを基本理念としており、心理職はその実現において重要な役割を担う。
- ⑤ 障害福祉サービスは、医療機関での入院による生活を原則としており、地域生活への移行支援は制度の対象外である。

問題4

次の質的研究の手法と、説明文の組み合わせのうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. エスノグラフィー
- B. ナラティブ・アプローチ
- C. M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）
- D. KJ法

- a. 語られた体験のストーリーを通じて、その人の意味づけや自己理解のプロセスを探る。
- b. 概念メモを活用し、実践場面から理論的枠組みを導き出す。
- c. フィールドに長期滞在し、観察や参与を通して文化や生活世界を理解する。
- d. データをカード化して分類・統合し、アイデアや構造を視覚的に構築する。

【選択肢】

- ① A - a B - b C - d D - c
- ② A - c B - a C - b D - d
- ③ A - a B - b C - c D - d
- ④ A - b B - d C - c D - b
- ⑤ A - c B - b C - d D - a

問題5

エンタテインメントを説明する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 乳児と養育者の間における感情や行動の同調であり、こうした双方向的なやりとりによって関係の基盤が形成され则认为られている。
- ② 乳児が判断に迷う状況において、信頼する大人の表情を見て、自身の行動を決定することをいう。
- ③ アヒルやカモなどの離巢性の鳥類が、孵化のすぐ後に目にした動くものの後を追う行動のことをいう。
- ④ 生後2、3か月の乳児が見せる、誰に対しても区別なく微笑みかける行動のことをいう。
- ⑤ 生後8か月頃の乳児が見せる、特定の人物との分離を強く拒否したり、特定の人物以外の人に対して嫌悪感を示す行動のことをいう。

問題6

Seligman, M.E.P. が犬の実験から見出した概念について、次の選択肢の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 試行錯誤学習
- ② コンタクトコンフォート
- ③ D型アタッチメント
- ④ 洞察学習
- ⑤ 学習性無力感

問題7

就学児版田中ビネー知能検査V（ファイブ）に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 主として就学児検診に活用されることから、5～6歳が適用範囲とされ、就学してから学習困難が心配されるような7歳児には適用できない。
- ② 田中ビネー知能検査V（ファイブ）の2～7歳級の問題と、補助問題に位置づけられていた「数の順唱」「数の逆唱」で構成されている。
- ③ 田中ビネー知能検査V（ファイブ）の検査用具をそのまま用いて実施する。
- ④ 田中ビネー知能検査V（ファイブ）の2～7歳級をそのまま採用している理由は、5、6歳児で通常の発達を遂げていれば、少なくとも基底年齢は2歳でとどめられると推察できるからである。
- ⑤ 田中ビネー知能検査V（ファイブ）の「発達チェック」や1歳級の問題で使用する大きめの用具も用いて実施する。

問題8

モデリングに関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 保持とは、実際に観察した行動を模倣してすることである。
- ② 注意とは、対象の行動の内容を記憶することである。
- ③ 動機づけとは、学習した行動を遂行しようという意欲を高めることである。
- ④ 運動再生とは、観察対象に注意を向けることである。
- ⑤ 代理強化は、観察によるレスポナント条件づけといえる。

問題9

精神分析に関する次の記述の中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 対象関係論では、他者は欲動を向ける相手であると考ええる。
- ② 対人関係論では、セラピストがブランクスクリーンであることが求められている。
- ③ 心の発達において、大人の中にも乳幼児の心の部分があると考ええる。
- ④ 自己心理学では、8～11歳頃の同性の親密な友人関係が重視されている。
- ⑤ 愛着を基盤とした、支持的な介入が行われる。

問題10

心理職としての倫理に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 自分の能力を越えていると判断した場合、適切な機関にリファーする。
- B. 贈りものを断ることは、クライアントの気持ちを傷つけるため避ける。
- C. 子どもを通じて知り合った人のカウンセリングを担当する。
- D. 同僚との雑談でも秘密保持を守る。

- ① A B
- ② A C
- ③ A D
- ④ B C
- ⑤ B D

問題11

ロールシャッハ・テストのスコア／コードとして、誤っているものを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- ① D
- ② (A)
- ③ C'
- ④ m
- ⑤ Hp

問題12

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

語幹完成課題におけるプライミング効果は、意味的連関性、物理的類似性いずれによって生ずるのかについて実験を行った。意味的連関性の有無、物理的類似性の有無それぞれを条件とし、ターゲットの語幹完成割合、ターゲットの語幹完成時の反応時間を指標として検討した。

その結果、語幹完成割合については、意味的連関性および物理的類似性が有の条件で意味的連関性および物理的類似性が無の条件よりも有意に多かった。また、意味的連関性および物理的類似性が有の条件では、意味的連関性有だが物理的類似性無の条件よりも有意に多かったが、意味的類似性無だが物理的類似性有の条件とは有意差が見られなかった。反応時間についても同様の結果であり、意味的連関性および物理的類似性が有の条件で意味的連関性および物理的類似性が無の条件よりも有意に短かった。また、意味的連関性および物理的類似性が有の条件では、意味的連関性有だが物理的類似性無の条件よりも有意に短かったが、意味的類似性無だが物理的類似性有の条件とは有意差が見られなかった。

この実験の結果の解釈についての次の記述の中から、正しいものを一つ選べ。

- ① 語幹完成割合と反応時間による交互作用があった。
- ② 意味的連関性と物理的類似性による交互作用があった。
- ③ 意味的連関性による主効果があった。
- ④ 物理的類似性による主効果があった。
- ⑤ 意味的連関性有の条件において、物理的類似性の単純主効果があった。

問題13

内田クレペリン精神作業検査に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 集団による実施が可能である。
- ② 定型曲線では、後半はやや下降気味の曲線を描くが、前半より全体的に作業量が上回る。
- ③ 加算作業は、前半 15 分間行い、10 分間休憩して、後半 15 分間行われる。
- ④ 練習効果が生じるという短所がある。
- ⑤ 定型曲線では、前半・後半とも最初の 1 分目の作業量が最も多く、これを初頭努力という。

問題14

神経心理学的検査に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① ベンダー・ゲシュタルト・テスト（BGT）では、9つの幾何学図形を被検者に模写してもらう。
- ② リバーミード行動記憶検査（RBMT）には、並行検査が4つあり、練習効果を生じさせない。
- ③ 三宅式記銘力検査は、有関係対語と無関係対語の記銘と想起を被検者に行わせる聴覚性言語性記憶検査である。
- ④ ベントン視覚記銘検査には、実施や解釈の方法として、コピッツ法とパスカル・サッテル法が代表的である。
- ⑤ WAB失語症検査には、半側空間無視や失行の検査項目が含まれる。

問題15

向精神薬とその副作用の組み合わせの中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 抗精神病薬 —— 悪性症候群
- ② ベンゾジアゼピン系抗不安薬 —— 傾眠
- ③ 抗うつ薬 —— 賦活症候群
- ④ 抗てんかん薬 —— 汎血球減少
- ⑤ 中枢神経刺激薬 —— 骨密度低下

問題16

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

【症例】31歳の男性

【経過】大学卒業後、会社員として勤務している。半年前から自分の考えていることが周囲に筒抜けになっている、自分の個人情報がインターネット上に流出しているという考えに囚われるようになった。会社や友人からも陰で悪口を言われているため、人付き合いも苦手になった、と話す。自身で精神科医療機関を受診し、統合失調症の診断の下、抗精神病薬の服薬が開始された。服薬開始後数日して、夜間に急に首がつってしまったため救急外来を受診した。

この不随意運動として考えられる現象について、次の選択肢の中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① アカシジア
- ② アテトーゼ
- ③ ジストニア
- ④ ジスキネジア
- ⑤ バリスム

問題17

MMPI-3に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① ジェンダー別の基準がない。
- ② コードタイプアプローチを採用していない。
- ③ 因子分析の考え方が導入されている。
- ④ 3つの因子構造が仮定されている。
- ⑤ 特定領域の問題尺度は MMPI の臨床尺度を基にした尺度である。

問題18

投影法検査についての次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① TAT の児童版として、Bellak, L. により作成された CAT がある。
- ② TAT の図版は、すべて人物が描かれており、欲求圧力分析により分析される。
- ③ HTP には、PDI と呼ばれる一定の質問が存在する。
- ④ P-F スタディは、アグレッションの型と方向からスコアリングされる。
- ⑤ KFD は、Burns, R, C. と Kaufman, S, H. が開発した家族画法の検査である。

問題19

次の疾患と、その症状を評価する際によく用いられる尺度の組み合わせの中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 社交不安症 —— LSAS
- ② パニック症 —— PHQ-9
- ③ 統合失調症 —— PANSS
- ④ うつ病 —— BDI-II
- ⑤ 強迫症 —— Y-BOCS

問題20

集団療法の進め方についての次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 心理教育を目的とする集団療法は、認知行動療法と組み合わせて行われることがある。
- B. 集団療法は、孤立感を和らげ、サポートネットワークを形成する助けとなる。
- C. 構造化された集団療法では、参加者がグループ体験をしている間、セラピストの役割はほとんどない。
- D. タイムリミットのある短期の集団療法では、成員の交代が効果を高める。
- E. 集団療法では、セラピストが指導的な役割を担うことはなく、メンバーの自主性に任せられる。

① A B

② A C

③ B D

④ C E

⑤ D E

Ⅱ. 次の専門用語について説明しなさい。

(1) 条件即応モデル

(2) 全人的苦痛